

歯周基本治療のクリニカルラダー 技術編

Stage 0

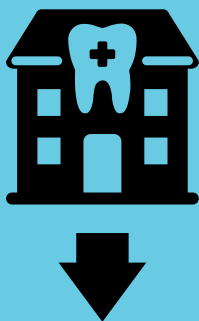
歯周基本治療を始めるための 環境づくり（診療システムの整備）

このステージでは、歯周基本治療を行うために必要な診療システムが構築され、それに伴う器具や機材が準備されている必要があります。歯周基本治療を行うためには、適切な器具や機材が整っていることが不可欠です。これには、スケーラー、キュレット、口腔内カメラなどが含まれます。これらの準備が整った環境を備えることは、治療の質を高めるための第一歩です。

CHECK!

- ☐ 歯周基本治療を行うための診療システム構築
- ☐ 器具・機材の準備

診療システム構築



器具・機材の準備



Stage 1

歯周病に関する基本的な知識をもち、指導を受けながら歯周基本治療を始められる

このステージでは、対象者とのコミュニケーションを通じて医療面接を行い、歯周組織検査を行うことが求められます。口腔内写真撮影、X線写真の位置づけや口腔内外の診査能力も求められます。

CHECK!

- ☐ 医療面接ができる：患者さんの病歴や症状を把握するための面接技術を習得する
- ☐ 歯周組織検査ができる：プロービングなどの検査を行い、歯周病の状態を評価できる
- ☐ 口腔内写真の撮影ができる：規格写真の撮影ができる
- ☐ X線写真の位置づけができる
- ☐ 口腔内外診査ができる：患者さんの口腔内外の状態を総合的に評価する技術を習得している

医療面接



口腔内写真



歯周組織検査



X線写真の
位置づけ



口腔内外診査





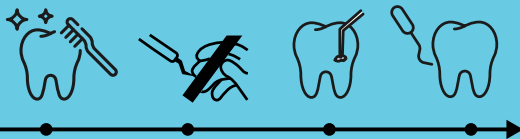
Stage 2

指導を受けながら歯周基本治療を行うことができる

このステージでは、個々の対象者の状態に合わせた口腔衛生指導（OHI）を実施します。また、インスツルメントのシャープニング技術を習得し、歯石の探知や単根歯で PPD 4 mm 以下の歯周ポケットを有する歯に対して、的確に SRP を行うことができます。

CHECK!

- ☐ 口腔衛生指導（OHI）の実施：対象者に適切な口腔ケア方法を指導する
- ☐ インスツルメントのシャープニングができる：器具の基本形態を維持しながら、鋭利さを保つための技術を習得している
- ☐ 歯石探知ができる：歯石を探知する技術をもつ
- ☐ SRP における操作性の確立を目指す：SRP の技術を習得している



個々の対象者に合わせた口腔衛生指導を提供

シャープニング技術を習得

歯石探知

PPD 4 mm 以下の単根歯に対して的確に SRP を実施



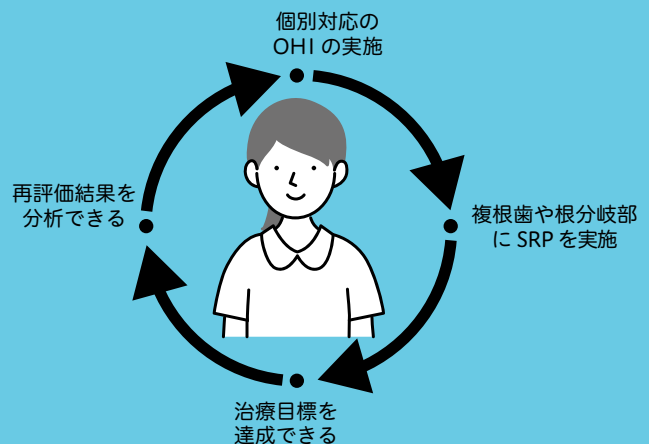
Stage 3

歯周基本治療を自分 1 人で的確に行える

このステージでは、より高度な技術を元に、OHI で対象者ごとの個別対応ができることが求められます。また、複根歯や根分岐部の SRP を確実に行い、成果を出すことを目指し、再評価で自分の治療の成果を分析します。

CHECK!

- ☐ OHI・SRP で成果が出せる：効果的な OHI と SRP を行い、治療の成果を実感できるようになる



Stage 4

対象者の個別性を考慮し、 歯周基本治療を進められる

このステージでは、これまで習得した技術を Stage2 までの歯科衛生士に指導する能力が求められます。また、歯周外科治療やインプラント治療への対応に加え、口腔機能を考慮した多様な患者さんのニーズに応じた個別の治療を進めることができます。

CHECK!

- ☐ Stage 2 までの技術を指導できる：これまで習得した技術を指導できる
- ☐ 口腔機能を考慮し、さまざまなタイプの対象者に対応ができる：難易度に応じた治療を提供するための技術を習得する

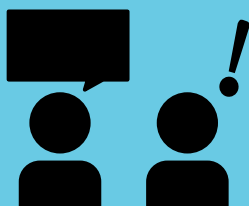
Stage 5

長期にわたる臨床経験から、 指導者として幅広い知識・ 技術をもつ

最終ステージでは、複雑な臨床状況においても幅広い視野をもち、将来のリスクを予測する能力が求められます。また、歯周治療を成功に導くための高い技術をもち、ほかの歯科衛生士を指導する立場に立つことが期待されます。

CHECK!

- ☐ 重度歯周炎に対して包括的に対応できる技術をもつ：重度の歯周炎や複雑な症例に対しても包括的な治療計画を立て、実施する能力を養う
- ☐ スムーズに他職種との連携を行うことができる：歯科医師だけではなく、そのほかの医療（・介護）職と協力し、患者さんに最適な治療を提供する、連携を円滑に行うためのコミュニケーション能力を養う



Stage2 までの
技術の指導



口腔機能を
考慮した対応

